

令和5年第2回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年1月26日（木）午後0時15分～午後3時55分

開催場所 警察本部各執務室、西部地区運転免許センター聴聞室
米子警察署執務室（リモート）

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時55分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 半田警察本部長 雲田警務部長 笠田首席監察官
前田生活安全部長 河本刑事部長 柴田交通部長
加藤警備部長 植木警察学校長 見垣情報通信部長
前田警務部参事官 山本米子警察署長

（事務局等～畔田公安委員会補佐室長、辻室長補佐）

3 議題事項

4 報告事項

- 2月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）
- 令和5年度当初予算案（警察関係）の概要（警務部）
- 管区警察局による管区監察の受監結果（令和4年度第2回）（警務部）
- 令和4年度総合監察の実施結果（警務部）
- 改正道路交通法の施行に伴う条例の一部改正（交通部）
- 令和4年度中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練（警備部）
- 2月中の入校及び訓練概況等（警察学校）
- 米子警察署の取組（活動）状況（米子警察署）

（1）2月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）

警察本部

本年度の警察費予算は、12月補正予算後で170億7,548万2,000円を確保している。2月補正では、6,482万9,000円を減額し、3,334万4,000円の繰越明許費を設定する。原油価格高騰により、警察施設の光熱費や車両ガソリン代が不足するため、1億7,200万円を増額する一方、令和4年度中に契約した各種事務委託や工事費等の入札残など、計2億3,682万円余りを減額するもので、合計6,482万9,000円の減額補正となる。令和4年度当初予算で計上された交通安全施設の標識・標示工事は、新型コロナの影響による資材調達の遅延等により、年度内完了が困難となったため、総額3,334万円余りの繰越明許費を設定する。2月補正後の令和4年度警察費予算総額は、170億1,065万3,000円となる。

(2) 令和5年度当初予算案（警察関係）の概要（警務部）

警察本部

令和5年度の警察費当初予算の総額は、169億4,829万1,000円を要求する。本年度と比較すると1億2,396万1,000円の減額となるが、運転免許業務に係る高齢者講習業務委託の終了や新運転者管理システム移行経費の減額、警察本部等、施設中期保全計画による改修対象事業の減少等によるものである。主な事業については、重点事業として、特殊詐欺被害防止推進のためテレビやYouTubeCMを活用した広報経費、交通安全教育車「ことぶき号」に搭載された交通安全教育機器を更新整備する経費、交通安全施設に係る信号灯機LED化促進のための増額、中長期整備計画に基づく交番3か所、駐在所10か所の建て替え及び改修経費などが認められており、厳しい財政状況の中、県民の期待に応える警察活動を推進するため、必要な予算を獲得することができた。

委員

現在問題となっている特殊詐欺や高齢者の交通事故防止にしっかり予算措置がなされており、非常に有り難い。デジタル式の飲酒検知器を導入すれば、現場の負担がかなり減ると思うので、今後、増やすことを検討してほしい。この度、交番、駐在所の整備に非常に大きな予算をいただいているが、交番や駐在所は、地域の安全の拠点となることから、しっかりと整備を進めていただきたい。

委員

特殊詐欺被害防止広報等経費が予算措置されているが、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用するなどして、県民に伝える方法でしっかり広報をしていただきたい。

委員

県民のために、必要な部署に、必要な人員や設備を充当するために作成された予算案となっている。

(3) 管区警察局による管区監察の受監結果（令和4年度第2回）（警務部）

警察本部から、令和4年度第2回の管区警察局による管区監察の受監結果について報告があった。

委員

監察結果は、おおむね良好であったということで、しっかり対応していただいていると思う。引き続きしっかり監察をお願いします。

委員

基本の徹底を図るようお願いします。

(4) 令和4年度総合監察の実施結果（警務部）

警察本部

令和4年度の総合監察を県下9警察署で実施した。年度当初に作成した監察実施計画に基づき、各部ごとに定めた項目について監察を実施した。その結果、各警察署がそれぞれ工夫しながら業務管理に努めていると認められたが、一部努力を要する指導事項として、術科訓練、教養の不足が挙げられた。なお、各警察署とも改善を要する指摘事項はなかった。良好な点は継続しつつ、不足している点は解消して、適正な業務を推進するよう指導した。

委員

教養の不足については、今後、どのように対応していくのか。

警察本部

本部主管課が発出している教養資料があるので、署員へ確実に周知するよう指導した。教養実施結果は、報告を受けるようにしている。

委員

術科に関する監察で、実施結果が「良好」や「おおむね良好」とあるが、具体的な基準があるのか。

警察本部

一定の評価ポイントに基づいて審査している。

委員

監察の実施結果は、「おおむね良好」だったということで良かったと思う。

(5) 改正道路交通法の施行に伴う条例の一部改正（交通部）

警察本部

昨年4月27日に公布された改正道路交通法の一部施行に伴い、鳥取県警察手数料条例及び鳥取県高齢者、障害者等の移動等の円滑化を図るための信号機等の基準を定める条例について所要の改正を行う。

鳥取県警察手数料条例の改正について、レベル4に相当する特定自動運行という、運転者がいない状態での自動運転を行おうとするものは、都道府県公安委員会の許可を受けることとなり、この許可申請に対応するため、その事務と手数料を新たに定めるものである。レベル4とは、道路運送車両法に規定する使用条件下でシステムが運転制御を実施し、条件を満たさないこととなっても、運転者が運転操作を引き継ぐことなく、システムが直ちに自動的に安全な方法で自動車を停止することができるものである。この度の条例改正は、特定自動運行の許可、特定自動運行計画の変更の許可に係る事務とその手数料について定めるものである。

次に鳥取県高齢者、障害者等の移動等の円滑化を図るための信号機等の基準を定める条例の改正について、この度の法改正により新たなモビリティの整備が図られ、遠隔操作で通行する車で、最高速度や車体の大きさが一定の基準に該当するものを遠隔操作型小型車と定義し、歩行者と同様の交通ルールが適用されることとなった。これに伴い道路交通法等で定める信号の意味等に歩行者と同様の交通ルールが適用されるよう遠隔操作型小型車の規定が追加されたことから、本県の条例においても歩行者用信号に関する規定について改正するものである。改正内容は、歩行者用信号を表す意味に遠隔操作型小型車に関する文言を追加したものである。今後、一部改正の条例を令和5年2月議会に付議し、本年4月1日に施行する予定である。

委員

自動運転や遠隔操作型小型車は、今後ますます普及していくことが予想され、この度の改正は、そのための法整備だと思う。レベル4であれば、一般公道も走行できるのか。

警察本部

そのとおりである。

委員

遠隔操作型小型車は、他県で既に運用しているところがあると思うが、具体的には、どのような会社等が運用しているのか。

警察本部

川崎重工、日本郵便、パナソニック、本田技研工業、楽天グループなどが運用しているという情報はあつ。本県での運用は、現在のところない。

委員

他県での運用状況を確認しながら進めていただきたい。

委員

自動運転が当たり前の時代が来ると思ふ。法令的に議論が重ねられると思ふので、引き続きしっかりと対応をお願いする。

委員

遠隔操作型小型車について、許可申請は不要か。

警察本部

そのとおりである。

(6) 令和4年度中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練(警備部)

警察本部

本年1月17日、18日の2日間、令和4年度中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練が岡山県和気郡和気町原地内の吉井川河川敷で開催された。訓練には、中国四国管区広域緊急援助隊の警備部隊、交通部隊、刑事部隊、広域警察航空隊、機動警察通信隊のほか、岡山県消防組合等の関係機関も参加して、総合的な災害警備訓練が実施された。

鳥取県警備部隊は、土砂に埋没した車両からの救出訓練を行い、一連の対処要領を確認した。交通部隊と刑事部隊は、他県部隊と連携し、緊急通行車両等確認標章交付訓練、身元確認及び遺族対応訓練を行った。航空隊及び機動通信隊は、ヘリテレ等の映像機器による映像伝送訓練を行った。本訓練では、他管区の特別救助班による指摘や指導が行われ、現場指揮能力及び現場対処能力の強化に向けた高い訓練効果が得られる訓練となった。

委員

毎年のように各地で大災害が起きており、訓練を通じて、しっかりと指揮系統

の確認を行い、課題が見つければ改善するようにしていただきたい。

委員

この度の訓練では、その都度、助言を受け、練度を高めたということなので、引き続き他県と連携しながら訓練を行っていただきたい。

委員

災害発生時の対処について、指揮する方の能力の高さが非常に重要であると思う。指揮する方がしっかりと連携して、災害救助に当たっていただきたいと思う。

今回の大雪で、JR京都線で乗客を長時間、車内に閉じ込めるという事案が起こった。何かあったときにしっかりと対処、指導、指示ができるかが大切だと思うので、引き続き対処能力の向上に努めていただきたい。

(7) 2月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

2月中の入校関係は、初任補修科第43期の採用時教養を引き続き行い、3課程の任用科が入校中である。また、2月27日から留置管理業務任用科が入校予定である。

2月中の行事・訓練関係は、初任補修科第43期生が、基礎的捜査書類作成能力検定を受検するほか、卒業考査、柔剣道昇段審査を予定している。

1月中の行事・訓練関係は、初任科第96期生が、年頭の学校長点検のほか、刑事部長訓育、大山登山訓練、LGBT講習を行った。1月31日に初任科第96期生の卒業式を挙げる予定である。新型コロナウイルス感染症の対策に配慮した上で、卒業式には保護者も参加する予定である。卒業後は、約3か月間の職場実習を行った後、初任補修科生として入校予定である。初任補修科第43期生は、1月10日に入校し、鑑識技能検定、警務部長訓育を実施している。

委員

初任科生には、警察学校を卒業するまで、しっかりと訓練等に励んでいただきたい。

委員

この度、初任科生の卒業式に保護者が参加できるということなので、家族で応援できる場ができて良いことだと思う。

委員

しっかりと教養訓練をしていただいております。立派な警察官が育っていることと思う。基礎的捜査書類作成能力検定があるが、日頃から書類の作成を行っていな

いと、なかなか書類が書けないと思う。現場に出てからも、書類作成能力が向上するよう指導していただきたい。

(8) 米子警察署の取組（活動）状況（米子警察署）

米子警察署

米子警察署から、戦略的な広報活動の推進状況のほか、コロナ禍を踏まえた各種イベント等への取組状況及び警察署の施設改修について説明がなされた。

委員

企業や子供と一緒に、特殊詐欺対策、交通安全対策など地道な活動をし、しっかりと行っていただいている。白バラ牛乳のパッケージに特殊詐欺の注意喚起メッセージを入れているのは、効果的で、非常に良い着眼点であると思う。一緒に行った企業や子供も防犯や交通安全に対する意識が高まってくると思う。

委員

色々な分野に精力的に活動していただいております、県民の安全安心を守っていただいていることが実感できる。白バラ牛乳の購入した際、パッケージを見たが、非常にインパクトが強く、効果的であると思った。今後もあらゆるツールを使って、特殊詐欺や交通安全等への注意喚起を行っていただきたい。

トライアスロン皆生大会での交通安全対策や米子がいな祭りに伴う雑踏警備等についても、現場の状況を見ながら、的確な指揮を行っていただいた結果、事故がなかったのだと思う。

委員

対応する事案も多いと思うが、しっかりと対応していただいていることに感謝を申し上げる。

5 その他

○冬山遭難救助訓練の実施（生活安全部）

○東京都狛江市内で発生した強盗殺人事件を受けた県警察の対応状況

(1) 冬山遭難救助訓練の実施（生活安全部）

警察本部

本日、国立公園大山で冬山遭難救助訓練を実施している。訓練には、鳥取県警察大山遭難広域救助隊並びに智頭警察署、郡家警察署及び倉吉警察署の警察官の

計27人が参加するとともに、講師として、鳥取県山岳クライミング協会の委員長及び副委員長にも参加していただいている。訓練では、基礎教養、装備品の取扱要領、雪上歩行訓練、ビバーク訓練及び搜索訓練を行う予定としている。

委員

大山は、大変な大雪だと聞いているが、冬山登山者が遭難したときのための訓練ということで大変有り難い。冬山は、事故の確率が高いと思うが、冬山の場合の登山届の提出状況はどうか。

警察本部

登山アプリ「コンパス」、「YAMAP」での登山届の提出はある。昨年、登山届の提出促進に取り組んだ結果、一昨年に比べて確実に登山届の提出率は上がってきている。現在、登山届の提出率は、50パーセントを超えているところ、引き続き、提出促進に努めていきたいと考えている。

委員

事故のないように安全対策をしながら、しっかりと訓練を行っていただきたい。

(2) 東京都狛江市内で発生した強盗殺人事件を受けた県警察の対応状況

委員

狛江市を中心として、背筋が寒くなるような大変凶悪な強盗事件が発生している。報道によると、実行犯は逮捕され、主犯格は海外にいるとのことだが、現在の県警察の対応状況は、どのようになっているのか。

警察本部

この事件に関しては、昨日の部長会議において、私から各部長に対して、警戒心を持って業務を行っていくよう指示したところである。現時点、県内で、この事件に関連した事件を承知していないが、警戒心を持って対応していこうと考えている。

警察本部

連日、首都圏を中心とした組織的な集団事件の報道がなされている。山口や広島などでも関連事件が発生しているということである。先ほど、本部長からあったとおり、昨日の部長会議で、本部長から、危機感、警戒感を十分に持つよう指示がなされたところである。これを受けて、本日、私から改めて各署長に指示しており、緊張感を持って業務を行うこと、情報収集を行い、情報を入手した場合には本部へ速報することを具体的に指示している。指示の内容は、刑事部門に限らず、全ての部門の末端の職員まで徹底する。

今回の事件の詳しい内容は、県警察には入っていないが、警察庁から、全国警察に対し、緊張感の保持と情報入手した際の県及び警察庁への速報の指示がなされている。引き続き、情報入手後の速やかな捜査、被害対象者が判明した場合のスピード感を持った被害防止対応に配意しながら、全職員が、緊張感を持って業務に当たっていく。

委員

狛江市の事件は、とても恐ろしい事件であると思っている。報道によると、この事件の犯人グループは、SNSの間バイトで応募した、お互いに知らない者同士であるということであった。間バイトを募集しているSNSを調べて、こういった事件の未然防止を図ることも重要であると思う。

警察本部

今回、犯人グループが連絡手段として利用した通信アプリは、テレグラムというロシアで開発された非常に匿名性の高いアプリである。通信手段からの被疑者の追跡は難しくても、そのほかの捜査手法により、被疑者を追い詰め、検挙に結びつけていきたい。

委員

体感治安が悪くなるような凶悪な事件であるので、しっかりとした対応をお願いする。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・ 2月補正予算案（警察関係）の概要
- ・ 令和5年度当初予算案（警察関係）の概要
- ・ 交通規制の議決

・ 令和 4 年度中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練の実施結果

4 報告事項

- ・ 捜査特別報奨金制度対象事件の指定及び街頭広報等の実施
- ・ 暴力団情勢

5 決裁

人事案件

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。